

<計画の内容 1. ～ 6. >は、合計最大5枚までとします。

<計画の内容（新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための取組）>

1. 新型コロナウイルスの影響を乗り越えるために1／6以上投資する類型（該当する類型を、一つ以上選択）

- A：サプライチェーンの毀損への対応
- B：非対面型ビジネスモデルへの転換
- C：テレワーク環境の整備

2.（自社の概要や市場動向、経営方針等を記載ください）（注1）

（1）自社の概要

- ・2008年6月：（事業主：〇〇、院長：〇〇）として開業
- ・主たる事業：柔道整復業、整体業、鍼灸業・あん摩マッサージ指圧業
その他の事業：漢方薬店業、物販業
- ・保有資格：院長：『鍼灸師・あん摩マッサージ指圧・柔道整復師・登録販売者』
事業主：『鍼灸師・登録販売者』 他に従業員2名
- ・股関節痛、坐骨神経痛に特化専門院
- ・施術料（自費診療） 初診料：3,500円 施術料：5,500円
- ・売上構成

自費診療	90%
保険診療	10%

・顧客のエリア

八王子市内	60%
八王子市外	40%

・院内施術：鍼灸治療をはじめ整体やカイロプラティック、特殊な電気治療機器、電氣的トレーニング機器、加圧トレーニング機器、漢方薬、プロテイン、サプリメントを使用し、多角的な方面から疼痛、痺れ、可動域制限、歩行の不自由、起立障害、自律神経症状等の様々な症状に対応。

・院外施術：脳血管障害による片麻痺、ロコモディブシンドロームによる重度の関節障害、パーキンソン病等による歩行障害などで、自力で来院する事が出来ない患者様の為に健康保険（療養費）を使用した安価な往診による施術。

（2）市場の動向

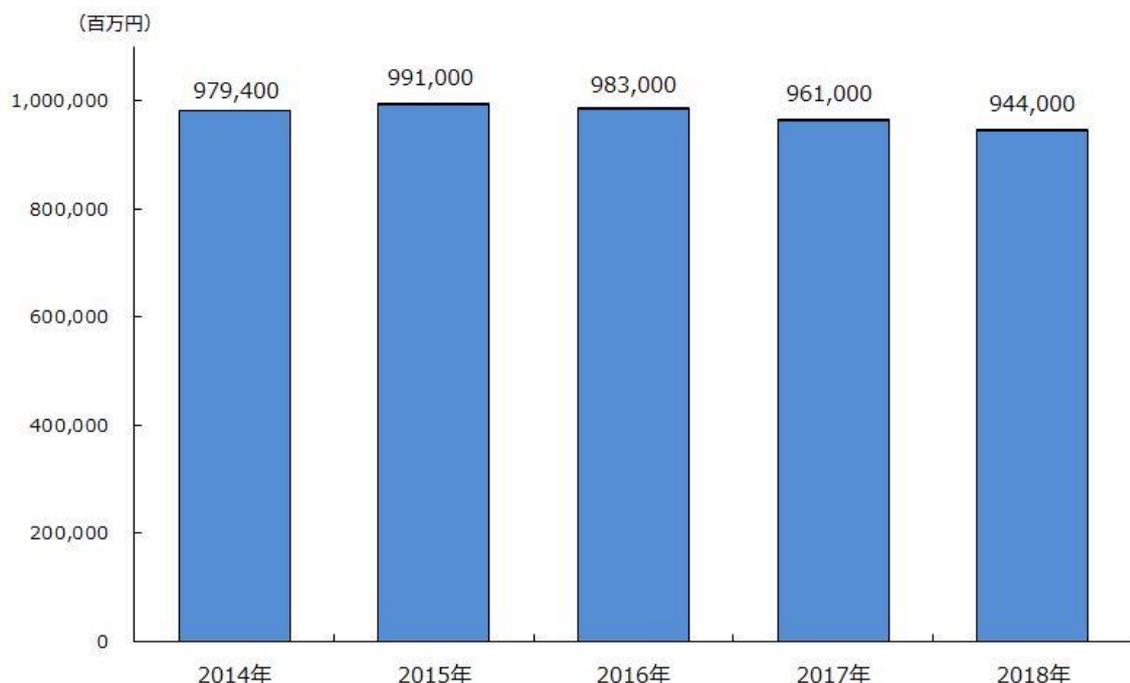
ここ数年来、療養費（健康保険）を使った鍼灸・あん摩マッサージ指圧・柔道整復施術に対する規制が強くなり、療養費による保険施術は減少傾向にある。その為に当院では療養費（健康保険）外の自費治療による施術をメインとし、時代のニーズに合わせた変化を伴っておこなっている。

半径500メートル圏内に3店舗の治療院があるが、競合として捉えているのは、市内で老舗治療院と言われるA院である。開業して30年以上、院長が柔道整復師会の西東京支部の会長を務めることもあり、地域の方々に信頼される治療院として認知されている。

当院は、股関節痛、坐骨神経痛に特化専門院としてアピールすることにより、市内だけでなく市外の患者様の割合が多い。他院よりも最新の専門知識や技術の取得、機器の導入に努めているため、病院や他院では、治療できなかった重度の患者様の来院も多く、その治療実績が当院の最大の強みと捉えている。

<参考資料>

柔道整復・鍼灸・マッサージ市場推移



矢野経済研究所調べ

注1. 国家資格者である施術者が提供する医療類似行為（サービス）を対象として、事業者売上高ベースで算出した。

国内の柔道整復・鍼灸・マッサージ市場は、柔道整復市場における保険治療（療養費）の減少により、2015年以降縮小傾向にあり、2018年の柔道整復・鍼灸・マッサージ市場（事業者売上高ベース）は前年比98.2%の9,440億円と推計した。

<矢野経済研究所 2020/06/16 プレスリリースより>

当市内に鍼灸師、柔道整復師を養成する学校があり、近隣の立川市や町田市、横浜市にも養成する学校があり、同業者が毎年多数輩出されている。

また、治療院やリラクゼーションサロンは、ベッドだけで仕入れる必要も在庫を持つ必要がなくても売上を上げる事が出来る、手に職を付けてサラリーマンが定年となる年代になっても仕事を続ける事が出来る等の宣伝により、リラクゼーション業や整体業が年々増加している。

競合他社が増加したことにより低価格競争になりやすく、新規の患者の取り合いにもなり、広告費の高騰にも繋がっており、集客コストなどの経費が年々増えている。

(3) 顧客の動向

新型コロナウイルス感染症の影響により、密なるのを避ける為に患者様の来院数が減少し、それに伴い令和2年3月以降の売上も減少した。営業の自粛対象にはならなかったが、自主的に4月だけ新規患者の予約を中止した。その結果、昨年及び一昨年より売上が大幅に減少。

2020年9月での東京都の感染者数は増加がみられており、外出時のバス電車内での感染や院内での感染を気にされ、治療は受けたいが、未だに来院されない方もみられる。

(4) 自院が提供するサービスと強み

「変形性股関節症」「坐骨神経痛」の専用治療院ならではの適切な治療を提案しており、症状や部位による特異性を鑑み、女性専用治療院として営業している。女性患者の治療経験、実績（施術歴16年で85,200人以上）が他の治療院よりも多く、症例について豊富な知識と経験を備えている。資格取得後、病院や接骨院、鍼灸院に努めながら修行し、今でも修行先の医師と

の連携がとれている。

① 手技療法

病院では、ほとんど行われないう「整形外科的徒手検査」を導入しており、病院でも原因が分からず、改善が見られなかった初診の患者に対し、丁寧な問診、触診、検査をおこない原因を探り、適切な治療方法を提案している。手技講習会や学術勉強会などに積極的に参加し、常に最新の治療情報や技術を取り入れてスキルアップに努め、その費用は年間売上の13%強。各種セミナーに参加して、独自に股関節痛・坐骨神経痛専用のオリジナルな手技療法を作り上げ、個々の患者の要望、症状や状況に応じたオーダーメイドの治療方法を提案している。

② 治療機器

通常の治療院では使用していない電気治療機器を多数導入している。大相撲の横綱・大関が使用している特殊な電気治療器ハイボルト、プロテニス選手が使用しているAAP治療器、加圧トレーニングを機械的に寝ているだけでおこなう治療機器などこれらは八王子で唯一当院だけが出来る治療方法である。

③ リハビリテーション

病院のリハビリテーションでおこなう特殊手技療法も同時に施しており、患者の症状や状態に合わせて使い分けている。院内ではスクワットやストレッチも指導しており、自宅でも同様のトレーニングが出来るように指導している。特許取得の電気トレーニング機器(EMS)を使用し電氣的な方面からもリハビリを行っている。

④ 栄養健康指導

栄養も健康を維持する為に重要な要素となっていることを説明し、プロテインやサプリメントによる栄養療法や断食療法、酵素ドリンクを使用した消化器官を休める事によるファスティング(酵素断食)療法(指導員資格取得)等、これらによる健康法の指導や日々も食生活の指導も行い、他の治療院では得られない情報提供をしている。

また、非対面での栄養健康指導をZOOMやLineを使用して実施している。

⑤自律神経症状

自律神経の失調により、8050問題といわれる40代50代の引きこもりが61万人、自殺者が3万人以上いる現状があり社会問題化している。自律神経の失調は脳内の神経伝達物質であるセロトニンの減少により症状が発生するのが医学的に解明されており、手技療法によりセロトニンを増加させる事が可能な事をエビデンスとして取得されている「セロトニン活性療法」を当市内で唯一、当院だけが施術可能である。

自律神経症状の患者様は心療内科にかかり向精神薬や抗不安薬などの精神を安定させる薬による対応が一般的であるが、薬による副作用による引きこもりや自殺も現場内部では問題視されている。海外ではオーソモレキュラー医学という栄養療法により自律神経の改善が効果的に図られている。当院でもオーソモレキュラー医学をベースにした栄養療法を導入し、医師と積極的に連携しながら自律神経症状の改善に努めている。

<経営方針>

外出を控え治療の機会が少なくなった患者様に、安心して治療を受けていただきたい! そのために自宅往診を強化していく。さらに往診時には、水素ガス吸入器を導入し、その治療効果を患者様にアピールすると同時に、施術中の非対面時間を増やす。水素ガスは厚生省の先進医療Bに登録され、日本でも難病といわれる症例の改善論文が世界各国でも多数みられており、様々な症状の改善報告を書籍化したものも現在では多数見られる。

熊本の内科医である赤木純児医師が末期がん患者37名に6ヶ月間の臨床試験をおこなったところ、「有効率75.5%・奏効率32.4%、ステージ4からステージ3へ変化、腫瘍の縮小が確

認められた、吐き気や倦怠感などの副作用が軽減された」という報告をあげている。厚生労働省では先進医療に「水素吸入療法 心停止後症候群」を追加し、心停止後の生存率と社会復帰率が低いものに効果的であると追加した。

中国では厚労省にあたる国家衛生健康委員会が、水素酸素混合ガス吸入器を国家Ⅲ類医療機器に認定し、新型コロナウイルス感染症肺炎の治療に採用した。

当市内では3店舗が水素ガス吸入器を使用し提供しているが、同業の治療院は1店のみで他の1店はエステサロン、もう1店は美容院である。

現行の同業治療院が提供している吸入器は家庭用機器で機能スペックは低いもので、効果的であるのが疑問である。当院では機能を比較し上位機種を導入し患者様により効果的な機器のもので提供し効果を実感して頂いている。

3. 新型コロナウイルス感染症による影響（売上減少等の状況について記載ください）（注2）

- ・新型コロナウイルスの影響により、既存の患者様が通院を控えるようになり来院回数が減少した。
- ・新規患者様が減少している。（4月はあえて新規患者様の受付を中止）
- ・東京都の指示の元、感染症対策の一環としてベッドを置く間隔を空け、実働ベッド数を減らした為に効率が悪くなってしまった。
- ・コロナ下4ヶ月間での平均売上額が、昨年より25.9%減少。
- ・来院数は2019年で平均15名が4ヶ月間で平均12名と3名減少。
- ・2020年9月での東京都の感染者数は増加がみられており、外出時のバス電車内での感染や院内での感染を気にされ、未だに来院されない方もみられる。
- ・2020年3月以降の売上の推移

	3月	4月	5月	6月	4ヶ月合計
2019年	〇〇円	〇〇円	〇〇円	〇〇円	〇〇円
2020年	〇〇円	〇〇円	〇〇円	〇〇円	〇〇円
減少率	〇〇%↓	〇〇%↓	〇〇%↓	〇〇%↓	〇〇%↓

4. 今回の申請計画で取り組む事業名【必須記入】（30文字以内で記入すること）

自宅往診の強化！水素ガス器導入より施術中の非対面時間を増やす

5. 今回の申請計画で取り組む内容（注3）

【計画内容】（上記1~3を踏まえて、販路開拓等の取組（A、BまたはCに関する取組を含む）を記載ください）

今後、感染症の第二波、第三波が来ることも想定される。患者様が来院しなくても自宅で健康維持が出来るように自宅への往診施術の機会を増やしていく。対面での施術時間が少なくても水素ガス器を併用することにより、より安心して治療効果の高い施術を提供していきます。

【非対面型ビジネスモデルへの転換として】 ～補助事業で取り組む内容～

<誰に>

- ・難治で既存の治療方法や漢方薬、サプリメントでは症状の改善に効果を感じていない方、
- ・慢性的に疲れが取れない方
- ・女性の永遠の欲求である美容・アンチエイジングに興味のある方
- ・ミトコンドリアを活性化し免疫力、回復力をあげたい方

当院は専門治療院として運営しているので症状の重い方が多数来られており、他院よりも専門家としての対応が可能である。

内科や整形外科の医師と連携がとれており、随時医師の診察も仰いでいる為に患者に安心し

て治療を受けて頂く事が可能である。

まだ当市内では水素ガスを吸入できる病院はなく、有資格者のいる当院では他サロンなどよりも安心して頂くことが可能である。また水素ガス吸引療法は禁忌や副作用がなく、患者様もカニューレ（ビニール製チューブ）を鼻孔へ装着するのみの為に、老人や子供でも誰にでも安全に操作出来る点も評価が高い。

<何を>

・水素ガス発生器を使用し、自宅往診をする。ただ家庭用機器から業務用機器まで低機能のものから高機能のものまで玉石混交の状態である。当院では水素だけではなく酸素も同時に吸入すると効果が高いので、同時に発生する事が可能な特許を取得したメーカーM I Z社の業務用機器を導入。

<どのように>

まずは、導入した機器を既存の患者様に体験して貰もらい効果を実感して頂く。その体験効果（患者様の声）をインターネット広告（PPC 広告、フェイスブック広告）に掲載し、自宅往診モデルを多くの方に訴求していく。既存の施術などと一緒にを行うことで、患者様への治療の相乗効果が期待でき、症状改善に繋げ顧客満足度を上げる事を狙う。当院の過去のネット広告のデータ（概算）より、1ヶ月の広告費 100,000 円→アクセス 2,000→来院 15~16 件程度という実績目安があるために、水素ガス吸入器を使用した自宅往診モデルをアピールし、同様の成果を期待したい。

・スケジュール

	2月	3月	4月
水素機器の導入（8月導入済み）	○		
自宅往診のネット広告（PPC、FB 広告）	○	○	
水素ガスを使用した往診サービス開始	○	○	○

6. 新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための取組の中で、本補助金が経営上にもたらす効果

水素ガス吸入器の導入による自宅往診モデルの強化により、新たな売上獲得を図る。より多くの患者様の自宅での健康維持を図っていきたい。また、新型コロナウイルス感染症が収束した後に、来院して頂ける遠因に繋がる効果も期待される。

<投資額>

水素ガス吸引器（jobs α） 604,670, 円 × 2 台 = 1,209,340 円

PPC 広告、フェイスブック広告 100,000 円 × 2 回（2 か月） = 200,000 円

<回収計画>

往診施術料（保険+患者負担分） 4,000 円 × 16 件（週に 4 件程度） = 64,000 円

* 毎月の往診売上 64,000 円と仮定し、投資額 1,409,340 円を約 22 ヶ月程度で回収したい。

1,409,340 円 ÷ 64,000 円 = 22 ヶ月

※経営計画等の作成にあたっては、必要に応じ、商工会議所と相談し、助言・指導を得ながら進めることができます。

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。